

事務事業名		ふれあい館維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	農政課
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり					担当係	農政係	担当課長名	藤掛 広行	
	施策	1 都市型農業の推進と中山間地域の活性化					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 中山間地域の活性化					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	8761	一般	6	1	2	ふれあい館維持管理事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成5年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市ふれあい館条例					
	実施方法		事業分類		施設維持管理事業(市主体)		リーディングプロジェクト		該当なし		
	市長マニフェスト		3-6								

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
ふれあい館の維持管理(施設の管理、修繕、利用許可、使用料の徴収)			<ul style="list-style-type: none"> ・利用申請の受付、利用許可書の発行 ・施設維持管理のための委託契約の事務 ・施設の修繕 ・消耗品の購入 ・光熱水費の支払い 							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			利用許可書の発行件数	件	0	4	2	0	0	
			修繕箇所数	箇所	0	2	0	0	0	
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
ふれあい館 むらづくり団体 市民、観光客			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			管理する施設数	施設	1	1	1	1	1	
			営業する団体数	団体	0	1	1	0	0	
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
目的 施設を安全で快適に利用できるようにする。 むらづくり団体が活動を継続できるようにする。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			利用日数	日	0	29	10	0	0	
			来客数	人	0	982	0	0	0	
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
中山間地域がされている。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			農産物直売所売上額	千円	932,240	970,000	975,000	980,000	985,000	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円		105	1					
	一般財源	千円	241	268	649					
	事業費計(A)	千円	241	373	650	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			需要費	72	需要費	196	需用費	411		
			役務費	46	役務費	50	役務費	52		
委託料			123	委託料	127	委託料	187			
人件費	人	1	1	1	0	0				
のべ業務時間	時間	120	250	100	0	0				
人件費計(B)	千円	467	985	394	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	708	1,358	1,044	0	0				

事務事業名	ふれあい館維持管理事業	担当部	産業文化部	担当課	農政課	担当係	農政係
-------	-------------	-----	-------	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成5年から地元産の特産物の提供、農産物の加工直売、地元の農林業と地域の活性化を図る目的で開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成22年3月までむらづくり団体が利用していたが、平成22年4月以降利用がなかった。農林漁家高齢者センターを改修するため、今年度はむらづくり団体が利用した。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	土地所有者から土地を原状回復して返還してほしいとの要望がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	施設を適切に維持管理して、むらづくり団体が営業できるようにし、市民や市外在住者に訪れてもらうことで、中山間地域の活性化を図ることができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市の施設であることから、適切に維持管理しなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	施設を維持管理する事業であり、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	施設を管理する事業であるため、成果の向上の余地はほぼない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	施設の維持管理に必要な経費と人件費で事業を実施している。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	むらづくり団体が、光熱水費を負担している。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
施設を廃止すれば、終了することができる。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">#</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	#	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
#	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			